

～第 68 回総会シンポジウムセッション～

2017 年 11 月 24 日 (金)

セッション 1 (13:30～15:00) : Phos-tag SDS-PAGE が拓くタンパク質リン酸化解析

座長：木下 英司 (広島大学), 木村 弥生 (横浜市立大学)

- 1) 木村 弥生 (横浜市立大学) Phos-tag わーど! ～Phos-tag が拓く電気泳動の未来～
- 2) 木村 妙子 (放射線医学総合研究所) 複雑怪奇なリン酸化タンパク質タウの Phos-tag 解析
- 3) 小迫 英尊 (徳島大学) Phos-tag などのリン酸化プロテオミクス技術による疾患原因キナーゼの機能解析
- 4) 山本 林 (東京大学) オートファジータンパク質群の動的相互作用と分子集合形態の解析
- 5) 澤崎 達也 (愛媛大学) Phos-tag: 生化学的および細胞内タンパク質のリン酸化解析のため最適ツール

セッション 2 (15:15～16:45) : 新しい臨床検査と電気泳動の活用法

座長：飯島 史朗 (文京学院大学), ハウリー 亜紀 (文京学院大学)

- 1) 植田 幸嗣 (公益財団法人がん研究会) エクソソームを標的とした新しい臨床検査
- 2) 小寺 義男 (北里大学) 血清・血漿中の Native Peptide 分析
- 3) 井本 真由美 (近畿大学医学部附属病院) 血清蛋白分画検査を院内で実施する意義
- 4) 山田 俊幸 (自治医科大学) クリオグロブリンの解析 —付加価値のある検査コメントを目指して—
- 5) ハウリー 亜紀 (文京学院大学) 臨床検査室で手軽に電気泳動・ウエスタンブロット

セッション 3 (16:45～18:15) : 電気泳動法を基盤とする多発性骨髄腫の臨床と研究の進歩

座長：安井 寛 (東京大学), 伊東 文生 (聖マリアンナ医科大学)

- 1) 安井 寛 (東京大学) 電気泳動法を基盤とする多発性骨髄腫の臨床と研究の進歩 ～はじめに～
- 2) 麻奥 英毅 (広島赤十字・原爆病院) 多発性骨髄腫 臨床の現場から
- 3) 黒田 芳明 (自治医科大学) 多発性骨髄腫 基礎研究からのアプローチ
- 4) 坂井 晃 (福島県立医科大学) 多発性骨髄腫の腫瘍起源異常 B リンパ球の解明にむけて

バイオインダストリーセミナー 1

2017 年 11 月 24 日 (金) 12:30～13:30

主催：和光純薬工業株式会社

講師：小池 透 (広島大学)

演題：金属配位結合を利用したプロテオミクス

(敬称略)

2017年11月25日(土)

セッション4 (13:30~15:00) : 電気泳動によるタンパク質複合体の解析

座長: 平野 久 (横浜市立大学)

- 1) 山野 晃史 (東京都医学総合研究所) ブルーネイティブ電気泳動を用いたミトコンドリア膜透過装置複合体の解析
- 2) 池田 和博 (埼玉医科大学) ブルーネイティブ電気泳動によるミトコンドリア呼吸鎖複合体の解析
- 3) 寺内 一姫 (立命館大学) ブルーネイティブ電気泳動による時計タンパク質 KaiC の動的構造解析
- 4) 高林 厚史 (北海道大学) ブルーネイティブ電気泳動を用いた光合成生物タンパク質複合体の網羅的解析
- 5) 松田 幹 (名古屋大学) 密度勾配遠心分離と SDS ゲル電気泳動を用いた分泌膜小胞結合タンパク質の解析

セッション5 (15:00~16:30) : 電気泳動法を用いた悪性腫瘍の診断や予後予測, 治療効果予測への応用

座長: 佐藤 雄一 (北里大学), 近藤 格 (国立がん研究センター)

- 1) 柳田 憲吾 (北里大学) 肺癌における細胞膜タンパク質同定と血清診断マーカーとしての有用性の検討
- 2) 鴨志田 伸吾 (神戸大学) 免疫組織化学染色によるがん化学療法感受性予測
- 3) 佐藤 雄一 (北里大学) 各種プロテオーム手法で獲得したマーカーの非小細胞性肺癌における術後補助化学療法への応用
- 4) 菊田 一貴 (慶應大学) 軟部肉腫の浸潤性予測バイオマーカー開発のためのプロテオーム解析
- 5) 近藤 格 (国立がん研究センター) 希少がんのプロテオーム解析

セッション6 (16:45~18:15) : MALDI biotyping の新展開

座長: 梶原 英之 (農業・食品産業技術総合研究機構), 曾川 一幸 (麻布大学)

- 1) 曾川 一幸 (麻布大学) MALDI biotyping の臨床応用
- 2) 青山 冬樹 (アサヒ飲料株式会社) 清涼飲料製造における MALDI-TOF-MS を利用した微生物同定
- 3) 森田 華子 (実験動物中央研究所) MALDI-TOF MS を用いた細菌同定受託検査の現状
- 4) 松山 由美子 (ブルカー・ダルトニクス株式会社) MALDI-TOF MS による微生物分析 - 同定を超えた最新技術
- 5) 梶原 英之 (農業・食品産業技術総合研究機構) MALDI biotyping の農業分野への応用

バイオインダストリーセミナー2

2017年11月25日(土) 12:15~13:15

主催: 株式会社ナード研究所&マナック株式会社

講師: 浅川 大樹 (産業技術総合研究所)

演題: エレクトロスプレーイオン化-電子移動解離タンデム質量分析法のメカニズムと
Phos-tag を利用したリン酸化ペプチド分析への応用

(敬称略)